

科目区分	外国語科目 (韓国語／朝鮮語)						
科目名	韓国語IA／朝鮮語入門A						
担当教員	金 智英						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	本講義は、はじめて朝鮮語を学ぶ人を対象とする。朝鮮語の文字の仕組みや発音の原理からはじめ、基礎となる文法や簡単な会話を学習する。なお、ことばのみならず、ことばを支えている発想について考えながら、隣国への理解を深めていく。 講義では、まず、文字・発音をはじめとする朝鮮語の基礎を学習し、文法や会話練習へと進めていく。前期終了時には、朝鮮語の読み書きが可能で、簡単な会話ができるレベルを目指す。
授業計画 Syllabus	第1回 韓国語を学ぶための基礎知識と学習方法 第2回 文字と発音1 第3回 文字と発音2 第4回 簡単なあいさつ表現と会話 第5回 読み書き練習 第6回 自己紹介文の作成と発表 第7回 「名詞+です」 第8回 「名詞+ではありません」 第9回 会話練習 第10回 小テスト 第11回 「あります/ありません」「います/いません」 第12回 会話練習 第13回 数字 第14回 会話練習 第15回 質疑応答と試験
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	平常点50% 試験50%
履修上の注意 Requirements and policy	(1) 授業外における学習 授業前学習：授業計画に従って、学習予定の内容を読んでくること。 授業後学習：進んだ部分の単語や表現を整理、各自の単語帳にまとめていくこと。 (2) 10回以上の出席がないと、受講資格を失う。
教科書 Textbook(s)	不要 (プリント配布)
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目 (韓国語／朝鮮語)						
科目名	韓国語IA／朝鮮語入門A						
担当教員	金 智英						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	本講義は、はじめて朝鮮語を学ぶ人を対象とする。朝鮮語の文字の仕組みや発音の原理からはじめ、基礎となる文法や簡単な会話を学習する。なお、ことばのみならず、ことばを支えている発想について考えながら、隣国への理解を深めていく。 講義では、まず、文字・発音をはじめとする朝鮮語の基礎を学習し、文法や会話練習へと進めていく。前期終了時には、朝鮮語の読み書きが可能で、簡単な会話ができるレベルを目指す。
授業計画 Syllabus	第1回 韓国語を学ぶための基礎知識と学習方法 第2回 文字と発音1 第3回 文字と発音2 第4回 簡単なあいさつ表現と会話 第5回 読み書き練習 第6回 自己紹介文の作成と発表 第7回 「名詞+です」 第8回 「名詞+ではありません」 第9回 会話練習 第10回 小テスト 第11回 「あります/ありません」「います/いません」 第12回 会話練習 第13回 数字 第14回 会話練習 第15回 質疑応答と試験
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	平常点50% 試験50%
履修上の注意 Requirements and policy	(1) 授業外における学習 授業前学習：授業計画に従って、学習予定の内容を読んでくること。 授業後学習：進んだ部分の単語や表現を整理、各自の単語帳にまとめていくこと。 (2) 10回以上の出席がないと、受講資格を失う。
教科書 Textbook(s)	不要 (プリント配布)
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（韓国語／朝鮮語）						
科目名	韓国語IB／朝鮮語入門B						
担当教員	金 智英						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業の目的、概要 Objectives and content	本講義は、前期に朝鮮語入門Aを受講した学生を対象とする。授業内容としては基礎となる文法や簡単な会話の復習からはじめ、様々な表現とその運用方法を学習していく。なお、ことばのみならず、ことばを支えている発想について考えながら、隣国への理解を深めていく。後期終了時まで、朝鮮語の簡単な質問と答えが理解でき、旅行などで簡単な会話ができるレベルを目指す。また、各種ハングル検定試験の初級にも挑戦してほしい。						
授業計画 Syllabus	第1回 基本文法の復習 第2回 かしこまった丁寧形 第3回 作文・会話練習 第4回 否定表現 第5回 作文・会話練習 第6回 単語テストと質疑応答 第7回 やわらかい丁寧形① 第8回 作文・会話練習 第9回 やわらかい丁寧形② 第10回 作文・会話練習 第11回 視聴覚授業 第12回 過去形 第13回 作文・会話練習 第14回 後期の学習内容まとめ 第15回 質疑応答と試験						
参照URL Reference URL(s)							
授業方法 Class type	講義						
評価方法 Evaluation	平常点50% 試験50%						
履修上の注意 Requirements and policy	(1) 履修対象者 朝鮮語 I Aを受講した者を対象とする (2) 授業外における学習 授業前学習：授業計画に従って、学習予定の内容を読んでくること。 授業後学習：進んだ部分の単語や表現を整理、各自の単語帳にまとめていくこと。 (3) 10回以上の出席がないと、受講資格を失う。						
教科書 Textbook(s)	不要（プリント配布）						
参考書 Reference(s)							
備考 Remarks							

科目区分	外国語科目（韓国語／朝鮮語）						
科目名	韓国語IB／朝鮮語入門B						
担当教員	金 智英						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	本講義は、前期に朝鮮語入門Aを受講した学生を対象とする。授業内容としては基礎となる文法や簡単な会話の復習からはじめ、様々な表現とその運用方法を学習していく。なお、ことばのみならず、ことばを支えている発想について考えながら、隣国への理解を深めていく。後期終了時まで、朝鮮語の簡単な質問と答えが理解でき、旅行などで簡単な会話ができるレベルを目指す。また、各種ハングル検定試験の初級にも挑戦してほしい。
授業計画 Syllabus	第1回 基本文法の復習 第2回 かしこまった丁寧形 第3回 作文・会話練習 第4回 否定表現 第5回 作文・会話練習 第6回 単語テストと質疑応答 第7回 やわらかい丁寧形① 第8回 作文・会話練習 第9回 やわらかい丁寧形② 第10回 作文・会話練習 第11回 視聴覚授業 第12回 過去形 第13回 作文・会話練習 第14回 後期の学習内容まとめ 第15回 質疑応答と試験
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	平常点50% 試験50%
履修上の注意 Requirements and policy	(1) 履修対象者 朝鮮語I Aを受講した者を対象とする (2) 授業外における学習 授業前学習：授業計画に従って、学習予定の内容を読んでくること。 授業後学習：進んだ部分の単語や表現を整理、各自の単語帳にまとめていくこと。 (3) 10回以上の出席がないと、受講資格を失う。
教科書 Textbook(s)	不要（プリント配布）
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（韓国語／朝鮮語）						
科目名	韓国語IC／朝鮮語会話A						
担当教員	関 淳奎						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	<p>今日、日本と韓国との交流は、政治・経済だけにとどまらず、多方面にわたって多様化している。また、交流の多様化に伴って、様々な方面から韓国語学習に対するニーズが高まってきている。</p> <p>本講義では、多様化しつつある韓国語のニーズにこたえるべく、しっかりとした韓国語基礎の習得を目指す。単語の習得、文の組み立て能力に重点を置いて講義を進めていく。さらに単語や文、あるいは挨拶表現の異同等を通して、隣国のコミュニケーションスタイル、発想方法等にも触れ、異文化の言語を学ぶ楽しさを味わってほしいと願っている。</p>
授業計画 Syllabus	<p>第1回 韓国語とはどういう言語か。一音節の構造を中心にー</p> <p>第2回 韓国語の母音習得</p> <p>第3回 子音習得ー平音を中心にー</p> <p>第4回 子音習得ー激音・濃音を中心にー</p> <p>第5回 音節末の子音（パッチム）の習得</p> <p>第6回 文字と発音編のまとめ</p> <p>第7回 第一課ーと①ー</p> <p>第8回 第一課ーと②ー</p> <p>第9回 第二課ーと①ー</p> <p>第10回 第二課ーと②ー</p> <p>第11回 第三課ー漢数詞とI・①ー</p> <p>第12回 第三課ー漢数詞とI・②ー</p> <p>第13回 第四課ー体と存在詞①ー</p> <p>第14回 第四課ー体と存在詞②ー</p> <p>第15回 第五課ー生年月日の言い方の習得ー</p>
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	<p>(1) 復習テスト（20%）</p> <p>(2) レポート・課題（20%）</p> <p>(3) テスト（60%）で判断する。</p>
履修上の注意 Requirements and policy	<p>(1) 欠席は4回までです。5回からは受講できません。遅刻2回は欠席1回としてみなします。なお、月に2回以上の欠席も原則的に認めません。</p> <p>(2) 授業の妨げとなる行為（遅刻、居眠り、私語）は他の学生の迷惑となりますので厳しく禁じます。</p>
教科書 Textbook(s)	金京子・喜多恵美子『パラッセ韓国語初級』朝日出版社
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（韓国語／朝鮮語）						
科目名	韓国語IC／朝鮮語会話A						
担当教員	関 淳奎						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業の目的、概要 Objectives and content	<p>今日、日本と韓国との交流は、政治・経済だけにとどまらず、多方面にわたって多様化している。また、交流の多様化に伴って、様々な方面から韓国語学習に対するニーズが高まってきている。</p> <p>本講義では、多様化しつつある韓国語のニーズにこたえるべく、しっかりとした韓国語基礎の習得を目指す。単語の習得、文の組み立て能力に重点を置いて講義を進めていく。さらに単語や文、あるいは挨拶表現の異同等を通して、隣国のコミュニケーションスタイル、発想方法等にも触れ、異文化の言語を学ぶ楽しさを味わってほしいと願っている。</p>						
授業計画 Syllabus	<p>第1回 韓国語とはどういう言語か。一音節の構造を中心にー</p> <p>第2回 韓国語の母音習得</p> <p>第3回 子音習得ー平音を中心にー</p> <p>第4回 子音習得ー激音・濃音を中心にー</p> <p>第5回 音節末の子音（パッチム）の習得</p> <p>第6回 文字と発音編のまとめ</p> <p>第7回 第一課ーと①ー</p> <p>第8回 第一課ーと②ー</p> <p>第9回 第二課ーと①ー</p> <p>第10回 第二課ーと②ー</p> <p>第11回 第三課ー漢数詞とI・①ー</p> <p>第12回 第三課ー漢数詞とI・②ー</p> <p>第13回 第四課ー体と存在詞①ー</p> <p>第14回 第四課ー体と存在詞②ー</p> <p>第15回 第五課ー生年月日の言い方の習得ー</p>						
参照URL Reference URL(s)							
授業方法 Class type	講義						
評価方法 Evaluation	(1) 復習テスト (20%) (2) レポート・課題 (20%) (3) テスト (60%) で判断する。						
履修上の注意 Requirements and policy	(1) 欠席は4回までです。5回からは受講できません。遅刻2回は欠席1回としてみなします。なお、月に2回以上の欠席も原則的に認めません。 (2) 授業の妨げとなる行為（遅刻、居眠り、私語）は他の学生の迷惑となりますので厳しく禁じます。						
教科書 Textbook(s)	金京子・喜多恵美子『パラッセ韓国語初級』朝日出版社						
参考書 Reference(s)							
備考 Remarks							

科目区分	外国語科目（韓国語／朝鮮語）						
科目名	韓国語ID／朝鮮語会話B						
担当教員	関 淳奎						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	今日、日本と韓国との交流は、政治・経済だけにとどまらず、多方面にわたって多様化している。また、交流の多様化に伴って、様々な方面から韓国語学習に対するニーズが高まってきている。 本講義では、多様化しつつある韓国語のニーズにこたえるべく、しっかりとした韓国語基礎の習得を目指す。単語の習得、文の組み立て能力に重点を置いて講義を進めていく。さらに単語や文、あるいは挨拶表現の異同等を通して、隣国のコミュニケーションスタイル、発想方法等にも触れ、異文化の言語を学ぶ楽しさを味わってほしいと願っている。
授業計画 Syllabus	第1回 第五課－生年月日の言い方の習得②－ 第2回 第六課－固有数詞と否定文の習得①－ 第3回 第六課－固有数詞と否定文の習得②－ 第4回 第七課－時間の言い方と「Ⅱ・」①－ 第5回 第七課－時間の言い方と「Ⅱ・」②－ 第6回 第八課－用言の短い否定形と「Ⅰ・」①－ 第7回 第八課－用言の短い否定形と「Ⅰ・」②－ 第8回 第九課－尊敬丁寧形「Ⅱ・」①－ 第9回 第九課－尊敬丁寧形「Ⅱ・」②－ 第10回 第十課－体の終結語尾「Ⅲ・」①－ 第11回 第十課－体の終結語尾「Ⅲ・」②－ 第12回 第十一課－用言と「Ⅰ・」①－ 第13回 第十一課－用言と「Ⅰ・」②－ 第14回 第十二課－指定詞の体と「Ⅱ・」①－ 第15回 第十二課－指定詞の体と「Ⅱ・」②－
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	(1) 復習テスト (20%) (2) レポート・課題 (20%) (3) テスト (60%) で判断する。
履修上の注意 Requirements and policy	(1) 欠席は4回までです。5回からは受講できません。遅刻2回は欠席1回としてみなします。なお、月に2回以上の欠席も原則的に認めません。 (2) 授業の妨げとなる行為（遅刻、居眠り、私語）は他の学生の迷惑となりますので厳しく禁じます。
教科書 Textbook(s)	金京子・喜多恵美子『パラッセ韓国語初級』朝日出版社
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目 (韓国語／朝鮮語)						
科目名	韓国語ID／朝鮮語会話B						
担当教員	関 淳奎						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	今日、日本と韓国との交流は、政治・経済だけにとどまらず、多方面にわたって多様化している。また、交流の多様化に伴って、様々な方面から韓国語学習に対するニーズが高まってきている。 本講義では、多様化しつつある韓国語のニーズにこたえるべく、しっかりとした韓国語基礎の習得を目指す。単語の習得、文の組み立て能力に重点を置いて講義を進めていく。さらに単語や文、あるいは挨拶表現の異同等を通して、隣国のコミュニケーションスタイル、発想方法等にも触れ、異文化の言語を学ぶ楽しさを味わってほしいと願っている。
授業計画 Syllabus	第1回 第五課—生年月日の言い方の習得②— 第2回 第六課—固有数詞と否定文の習得①— 第3回 第六課—固有数詞と否定文の習得②— 第4回 第七課—時間の言い方と「Ⅱ・」①— 第5回 第七課—時間の言い方と「Ⅱ・」②— 第6回 第八課—用言の短い否定形と「Ⅰ・」①— 第7回 第八課—用言の短い否定形と「Ⅰ・」②— 第8回 第九課—尊敬丁寧形「Ⅱ・」①— 第9回 第九課—尊敬丁寧形「Ⅱ・」②— 第10回 第十課—体の終結語尾「Ⅲ・」①— 第11回 第十課—体の終結語尾「Ⅲ・」②— 第12回 第十一課—用言と「Ⅰ・」①— 第13回 第十一課—用言と「Ⅰ・」②— 第14回 第十二課—指定詞の体と「Ⅱ・」①— 第15回 第十二課—指定詞の体と「Ⅱ・」①—
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	(1) 復習テスト (20%) (2) レポート・課題 (20%) (3) テスト (60%) で判断する。
履修上の注意 Requirements and policy	(1) 欠席は4回までです。5回からは受講できません。遅刻2回は欠席1回としてみなします。なお、月に2回以上の欠席も原則的に認めません。 (2) 授業の妨げとなる行為(遅刻、居眠り、私語)は他の学生の迷惑となりますので厳しく禁じます。
教科書 Textbook(s)	金京子・喜多恵美子『パラッセ韓国語初級』朝日出版社
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目 (韓国語／朝鮮語)						
科目名	朝鮮語IIA						
担当教員	金 智英						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	本講義は、朝鮮語 I を受講した学生を対象とする。授業では、基礎文法や簡単な会話の復習からはじめ、様々な表現とその運用方法を学習していく。なお、ことばのみならず、ことばを支えている発想について考えながら、隣国への理解を深めていく。前期終了時には朝鮮語の基礎文法を用いた作文や応用会話ができるレベルを目指す。また、各種ハングル検定試験の初級から中級にも挑戦してほしい。
授業計画 Syllabus	第1回 基本文法の確認 第2回 やわらかい丁寧形① 第3回 やわらかい丁寧形② 第4回 会話練習 第5回 文をつなげる 第6回 会話練習 第7回 目的・希望を表す 第8回 会話練習 第9回 尊敬語 第10回 視聴覚授業 第11回 疑問詞 第12回 理由を表す 第13回 予測・推測を表す 第14回 会話練習 第15回 質疑応答と試験
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	平常点50% 試験50%
履修上の注意 Requirements and policy	(1) 履修対象者 朝鮮語 I を受講した者を対象とする (2) 授業外における学習 授業前学習：授業計画に従って、学習予定の内容を読んでくること。 授業後学習：進んだ部分の単語や表現を整理、各自の単語帳にまとめていくこと。 (3) 10回以上の出席がないと、受講資格を失う。
教科書 Textbook(s)	不要 (プリント配布)
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目 (韓国語/朝鮮語)						
科目名	朝鮮語IIA						
担当教員	関 淳奎						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	(1) ハングル能力検定試験4級程度の限られた語彙や文法を用いて会話ができることを目指す。 (2) 秋(11月)のハングル能力検定試験4級(5級)習得を目指す。
授業計画 Syllabus	第1回 第一課一年齢や職業、趣味の表現①ー 第2回 第一課一年齢や職業、趣味の表現②ー 第3回 第二課一「Ⅲ・」と引用表現①ー 第4回 第二課一「Ⅲ・」と引用表現②ー 第5回 第三課一聞き返しの文と感嘆文①ー 第6回 第三課一聞き返しの文と感嘆文②ー 第7回 第四課一不可能の表現と根拠法①ー 第8回 第四課一不可能の表現と根拠法②ー 第9回 第五課一「Ⅱ・」と勧誘の「Ⅲ・」①ー 第10回 第五課一「Ⅱ・」と勧誘の「Ⅲ・」②ー 第11回 第六課一連用形(第Ⅲ語基)を含む表現①ー 第12回 第六課一連用形(第Ⅲ語基)を含む表現②ー 第13回 第七課一連体形①ー 第14回 第七課一連体形②ー 第15回 試験
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	(1) 復習テスト(20%) (2) レポート・課題(20%) (3) 小テスト(60%)で判断する。
履修上の注意 Requirements and policy	(1) 欠席は4回までです。5回からは受講できません。遅刻2回は欠席1回としてみなします。なお、月に2回以上の欠席も原則的に認めません。 (2) 授業の妨げとなる行為(遅刻、居眠り、私語)は他の学生の迷惑となりますので厳しく禁じます。
教科書 Textbook(s)	金京子『パランセ韓国語中級』朝日出版社
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（韓国語／朝鮮語）						
科目名	朝鮮語IIB						
担当教員	金 智英						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	本講義は、前期に朝鮮語Ⅰ・ⅡAを受講した学生を対象とする。前期に学習した文法や表現を土台に、さらに高度な表現を学ぶ。後期終了時まで、簡単な日常会話・中級レベルの文章などが理解できて、日記や手紙などが自力で書けるレベルを目指す。また、各種ハングル検定試験の中級レベルにも挑戦してほしい。
授業計画 Syllabus	第1回 基本文法の確認 第2回 形容詞の連体形 第3回 動詞の連体形① 第4回 動詞の連体形② 第5回 会話練習 第6回 文をつなげる「～ですが」 第7回 不規則活用まとめ 第8回 会話練習 第9回 文をつなげる「～て」 第10回 会話練習 第11回 視聴覚授業 第12回 可能・不可能の表現とその応用 第13回 意思を表す表現 第14回 会話練習 第15回 質疑応答と試験
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	平常点50% 試験50%
履修上の注意 Requirements and policy	(1) 履修対象者 朝鮮語Ⅰ・朝鮮語ⅡAを受講した者を対象とする (2) 授業外における学習 授業前学習：授業計画に従って、学習予定の内容を読んでおくこと。 授業後学習：進んだ部分の単語や表現を整理、各自の単語帳にまとめていくこと。 (3) 10回以上の出席がないと、受講資格を失う。
教科書 Textbook(s)	不要（プリント配布）
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目 (韓国語／朝鮮語)						
科目名	朝鮮語IIB						
担当教員	関 淳奎						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	(1) ハングル能力検定試験4級程度の限られた語彙や文法を用いて会話ができることを目指す。 (2) 秋(11月)のハングル能力検定試験4級(5級)習得を目指す。
授業計画 Syllabus	第1回 第八課一過去連体形を含んだ表現①一 第2回 第八課一過去連体形を含んだ表現②一 第3回 第九課一形容詞と指定詞の連体形①一 第4回 第九課一形容詞と指定詞の連体形②一 第5回 第十課一予期連体形①一 第6回 第十課一予期連体形②一 第7回 第十一課一予期連体形を含む表現①一 第8回 第十一課一予期連体形を含む表現②一 第9回 第十二課一「体」の命令形と「I・」①一 第10回 第十二課一「体」の命令形と「I・」②一 第11回 第十三課一「II・」と「I・」①一 第12回 第十三課一「II・」と「I・」②一 第13回 第十四課一「体」の平叙形と平叙形の引用文①一 第14回 第十四課一「体」の平叙形と平叙形の引用文②一 第15回 試験
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	講義
評価方法 Evaluation	(1) 復習テスト (20%) (2) レポート・課題 (20%) (3) 小テスト (60%) で判断する。
履修上の注意 Requirements and policy	(1) 欠席は4回までです。5回からは受講できません。遅刻2回は欠席1回としてみなします。なお、月に2回以上の欠席も原則的に認めません。 (2) 授業の妨げとなる行為(遅刻、居眠り、私語)は他の学生の迷惑となりますので厳し
教科書 Textbook(s)	金京子『バランセ韓国語中級』朝日出版社
参考書 Reference(s)	
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目（韓国語／朝鮮語）						
科目名	朝鮮語IIC						
担当教員	李 裕淑						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業の目的、概要 Objectives and content	朝鮮語 I を終了した程度の実力を持つ学習者を対象とする。いろいろな表現を使って韓国の人と簡単なコミュニケーションができるようになることをめざす。基本的な表現のうち、朝鮮語 I で学習しなかった事項について練習するとともに、スキットなどを通して、韓国の文化・習慣に対する理解をさらに深める。 ハングル能力検定試験 4 級、5 級合格を目指す。						
授業計画 Syllabus	第1回 第1課 (1) 初級の復習 家族の紹介 ヒアリング、リーディング 第2回 第1課 (2) 文法練習問題、並列・順次、逆説、進行、希望など 第3回 第2課 (1) 紹介 発音練習 ヒアリング、リーディング 第4回 第2課 (2) 法練習問題 理由・前提動作など 第5回 第3課 (1) 付き合い 小テスト 会話練習 第6回 第3課 (2) 語尾 第7回 第4課 (1) 言い訳 ヒアリング、リーディング 第8回 第4課 (2) 文法練習問題 能力否定など 第9回 第5課 (1) 道案内 相談 ヒアリング、リーディング 第10回 第5課 (2) 小テスト 文法練習 仮定・条件など 第11回 第6課 (1) 友達の紹介 ヒアリング・リーディング 第12回 第6課 (2) 連用形 第13回 第7課 (1) 休日の予定 ヒアリング、リーディング 第14回 第7課 (2) 連体形 第15回 文法の総復習 テスト 会話練習						
参照URL Reference URL(s)							
授業方法 Class type	韓国語表現になれる。 ヒアリング、リーディング、会話練習を中心学ぶ。 ハングル能力検定 4 級、5 級を対応する小テスト。						
評価方法 Evaluation	テスト（60%）、授業態度、提出物、出欠など（40%）で評価する						
履修上の注意 Requirements and policy	ハングルが読める事、 出席率、提出物を重視します。						
教科書 Textbook(s)	金京子『バランス韓国語 中級』朝日出版社						
参考書 Reference(s)	プリントを配布する						
備考 Remarks							

科目区分	外国語科目 (韓国語/朝鮮語)						
科目名	朝鮮語IIC						
担当教員	李 裕淑						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業の目的、概要 Objectives and content	朝鮮語 I を終了した程度の実力を持つ学習者を対象とする。いろいろな表現を使って韓国の人と簡単なコミュニケーションができるようになることをめざす。基本的な表現のうち、朝鮮語 I で学習しなかった事項について練習するとともに、スキットなどを通して、韓国の文化・習慣に対する理解をさらに深める。 ハングル能力検定試験 4 級、5 級合格を目指す。						
授業計画 Syllabus	第1回 第1課 (1) 初級の復習 家族の紹介 ヒアリング、リーディング 第2回 第1課 (2) 文法練習問題、並列・順次、逆説、進行、希望など 第3回 第2課 (1) 紹介 発音練習 ヒアリング、リーディング 第4回 第2課 (2) 法練習問題 理由・前提動作など 第5回 第3課 (1) 付き合い 小テスト 会話練習 第6回 第3課 (2) 語尾 第7回 第4課 (1) 言い訳 ヒアリング、リーディング 第8回 第4課 (2) 文法練習問題 能力否定など 第9回 第5課 (1) 道案内 相談 ヒアリング、リーディング 第10回 第5課 (2) 小テスト 文法練習 仮定・条件など 第11回 第6課 (1) 友達の紹介 ヒアリング・リーディング 第12回 第6課 (2) 連用形 第13回 第7課 (1) 休日の予定 ヒアリング、リーディング 第14回 第7課 (2) 連体形 第15回 文法の総復習 テスト 会話練習						
参照URL Reference URL(s)							
授業方法 Class type	韓国語表現になれる。 ヒアリング、リーディング、会話練習を中心学ぶ。 ハングル能力検定 4 級、5 級を対応する小テスト。						
評価方法 Evaluation	テスト (60%)、授業態度、提出物、出欠など (40%) で評価する						
履修上の注意 Requirements and policy	ハングルが読める事、 出席率、提出物を重視します。						
教科書 Textbook(s)	金京子『バランセ韓国語 中級』朝日出版社						
参考書 Reference(s)	プリントを配布する						
備考 Remarks							

科目区分	外国語科目（韓国語／朝鮮語）						
科目名	朝鮮語IID						
担当教員	李 裕淑						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	朝鮮語Ⅱ前期を終了した程度の実力を持つ学習者を対象とする。いろいろな表現を使って韓国の人と簡単なコミュニケーションができるようになることをめざす。基本的な表現のうち、朝鮮語Ⅰで学習しなかった事項について練習するとともに、スキットなどを通して、簡単な韓国語の会話力をつけて韓国の文化・習慣に対する理解をさらに深める。 ハングル能力検定試験4級、5級合格を目指す。
授業計画 Syllabus	第1回 第8課(1)ⅡCの総復習 日記 ヒアリング、リーディング 第2回 第8課(2)文法練習、目的表現、変則 文章作成 会話練習 第3回 第9課(1)服装 ヒアリング、リーディング 第4回 第9課(2)文法練習 状態、許容表現など 会話練習 第5回 第10課(1)招待 小テスト ヒアリング、リーディング 第6回 第10課(2)文法練習 意向の確認、意志、約束 第7回 第11課(1)食事と運動 ヒアリング、リーディング 第8回 第11課(2)文法練習 義務など 会話練習 第9回 第12課(1)外国語の学習法 ヒアリング、リーディング 第10回 第12課(2)小テスト 丁寧な命令 会話練習 第11回 第13課(1)訪問 ヒアリング、リーディング 第12回 第13課(2)文法練習 変則形 会話練習 第13回 第14課(1)休憩の計画 ヒアリング、リーディング 第14回 第14課(2)文法練習 平叙形など 会話練習 第15回 総復習およびテスト 会話練習
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	CDの聞き取りをもとに韓国語表現になれる。リーディング、会話練習、練習問題、小テストにハングル能力検定の過去問題を取り入れる。
評価方法 Evaluation	テスト(60%)、授業内態度、提出物、出欠など(40%)で評価する
履修上の注意 Requirements and policy	ハングルが読み書きできること。 出席、提出物を重視します。
教科書 Textbook(s)	金京子『パランセ韓国語 中級』朝日出版社
参考書 Reference(s)	プリントを配布する
備考 Remarks	

科目区分	外国語科目 (韓国語／朝鮮語)						
科目名	朝鮮語IID						
担当教員	李 裕淑						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	朝鮮語Ⅱ前期を終了した程度の実力を持つ学習者を対象とする。いろいろな表現を使って韓国の人と簡単なコミュニケーションができるようになることをめざす。基本的な表現のうち、朝鮮語Ⅰで学習しなかった事項について練習するとともに、スキットなどを通して、簡単な韓国語の会話力をつけて韓国の文化・習慣に対する理解をさらに深める。 ハングル能力検定試験4級、5級合格を目指す。
授業計画 Syllabus	第1回 第8課(1)ⅡCの総復習 日記 ヒアリング、リーディング 第2回 第8課(2)文法練習、目的表現、変則 文章作成 会話練習 第3回 第9課(1)服装 ヒアリング、リーディング 第4回 第9課(2)文法練習 状態、許容表現など 会話練習 第5回 第10課(1)招待 小テスト ヒアリング、リーディング 第6回 第10課(2)文法練習 意向の確認、意志、約束 第7回 第11課(1)食事と運動 ヒアリング、リーディング 第8回 第11課(2)文法練習 義務など 会話練習 第9回 第12課(1)外国語の学習法 ヒアリング、リーディング 第10回 第12課(2)小テスト 丁寧な命令 会話練習 第11回 第13課(1)訪問 ヒアリング、リーディング 第12回 第13課(2)文法練習 変則形 会話練習 第13回 第14課(1)休憩の計画 ヒアリング、リーディング 第14回 第14課(2)文法練習 平叙形など 会話練習 第15回 総復習およびテスト 会話練習
参照URL Reference URL(s)	
授業方法 Class type	CDの聞き取りをもとに韓国語表現になれる。リーディング、会話練習、練習問題、小テストにハングル能力検定の過去問題を取り入れる。
評価方法 Evaluation	テスト(60%)、授業内態度、提出物、出欠など(40%)で評価する
履修上の注意 Requirements and policy	ハングルが読み書きできること。 出席、提出物を重視します。
教科書 Textbook(s)	金京子『パランセ韓国語 中級』朝日出版社
参考書 Reference(s)	プリントを配布する
備考 Remarks	